

## 春シーズンをふりかえって

いつも応援いただき、誠にありがとうございます。  
ます。

7月1日に行なわれた東日本社会人選手権試合「第34回パールボウル」にて、13-15で富士通フロンティアーズに逆転負けを喫し、2010年の春シーズンを終えました。

今シーズンは、「選手が主役でワクワクするフットボールで勝ちきる」という基本方針を掲

げ、春の目標として「パールボウル優勝」を目指してここまでやってまいりましたが、果たせませんでした。ただ、とくに選手個々の意識面の成長においては、一定以上の成果があがってきている、という感触も得ております。秋のリーグ戦スタートまであと2カ月を切りました。この春に明確になった課題を克服すべく、夏の強化練習において、一段上の技術・体力・戦術を組み込

み、チームワークのレベルアップを実現すべく、取り組んでまいります。

引き続き、さらなるご支援、応援を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

オービックシーガルズ  
社長兼GM

並河 研



【パールボウルトーナメント・レポート】

## パールボウル準優勝で春シーズンを終える

パールボウル準決勝 6月13日(日)川崎球場  
vs.明治安田パイレーツ

快勝で2年連続決勝進出 オービック62-7 明治安田

第1Q序盤からオービックは得点を積み重ねていきます。QB#6菅原からTE#35山崎へのTDパス、RB#21杉原の2連続TDランで立て続けに得点。明治安田のQBを起点にしたラン攻撃で1TDを返されますが、28-7と大きくリードを保ち前半を終えました。

後半に入ってもオービックオフェンスの勢いは止まりません。前半途中より出場していたQB#7木下からWR#83清水へのTDパスが決まり、さらにリードを広げていきます。その

後、RB#21杉原がこの試合3つめとなるTDランを決めれば、K#1金親は49ヤードのFGを成功。最終スコアは62-7での快勝でした。

オフェンスはトータル605ヤードを獲得する充実の内容。WR#83清水は今季初TDを含む2TDを獲得し、パールボウルへ向けて調子を上げてきました。ディフェンスも相変わらずの安定感を披露。個人ではDL#11ケヴィン・ジャクソンが7タックル1サックを記録し存在感を見せつけました。



WR#83清水は独走で今季初TD



PAT、FGの成功率100%のK/P#1金親



LB#45早坂は思い切りのよさが身上

第34回パールボウル 7月1日(木)東京ドーム  
vs.富士通フロンティアーズ

パールボウル制覇に一步届かず オービック13-15 富士通

前半は両チームともにTDが決まらず、決勝にふさわしい息詰まる展開となりました。第1Q、K#1金親が45ヤードのFGを立て続けに決め6-0とリードします。しかし、富士通も長いFGを2本成功させ同点に追いつき、お互い譲らぬまま後半を迎えます。

第3Q、オービックは富士通に自陣深くまで攻め込まれピンチを迎えます。TDを許すかと思われましたが、この場面は守備陣が粘りを見せ、何とかFGの3点に抑えます。逆転を許したオービックですが、その次の攻撃でRB#21杉原がサイドラインぎわを独走し、値千金の44ヤード逆転TDを奪います。このまま一気

に試合を決めたいところでしたが、なかなか追加点を奪えず、逆に第4Q終盤、富士通に逆転TDパスを許してしまいます。直後の2点コンバージョンをしっかりと阻止し、13-15。最後のFGトライに命運を賭けますが、失敗し試合終了。昨年の3点差に続き今年も2点差で



DL#92紀平が鮮やかなインターセプト



RB#21杉原は春全試合でTDを記録



後半から攻撃をリードしたQB#7木下

## ゲームMVP (コーチ選出)



Offense MVP  
WR#83 清水 謙

ファンブルロスト後のオフェンスシリーズで独走 TDを決めたのは大きい。5キャッチ 132ヤード、2TD。



Defense MVP  
DL#11 ケヴィン・ジャクソン

7タックルを決めてタックルリーダー。QBサックを含む激しいヒットで、スクリーメージの攻防を支配した。



Kicking MVP  
DB#27 松下大剛

常にフルスピードでプレーし、キャリアーに絡むプレーをし続けた。遂行力の高さが光る。

※敗戦のためゲームMVPはありません

の敗戦と、あと一步のところまで優勝に届きませんでした。

試合記録上はほとんど差がつかない紙一重の試合でしたが、こういった僅差の試合を勝ち取る勝負強さを身につけていくことが、秋シーズンへの課題となります。

Monthly Report

6

2010

メインスポンサー

システムインテグレータの **オービック**

オフィシャルスポンサー



OBC BUSINESS CONSULTANTS CO. LTD.



オービックシーガルズ マンズリーレポート6月号

発行人/並河 研  
編集/渡部 滋之  
制作・デザイン/高木 慶太  
文/渡部 滋之、佐野 裕文  
発行/株式会社OFC  
〒275-0024 千葉県習志野市茜浜3-6-3  
tel: 047-452-2224  
http://www.seagulls.jp